

ファームレポート 6月

6月、ヴィンテージファームの周囲の杜ではコアジサイという種類のヤマアジサイが花を咲かせていました。この時季、花屋さんの店先にはハイドランジアと呼ばれる色鮮やかな西洋アジサイが並んでいます。ヤマアジサイにはこのような派手さはありません。しかし、その清楚な姿を見るのは植物好きの私にとって梅雨の時季の楽しみであります。

今回、農場から第1回目の報告を致します。
5月上旬から植栽を始めたブドウの苗木も5月23日のヴィンテージファーム開場式の後、数日で今回の植栽作業を終了しました。

その後苗木は活着率も良く、順調に生育し、芽かきや誘引などの新梢管理を忙しくこなしております。ただ、一部の苗木は生育が劣ったり、葉の色が本来の深い濃い緑色ではなく色が浅いものが見られたりするようになりました。これはこの畑が新たに造成をした畑であるからです。

冬、土作りの前に土壌養分の分析を実施し、土壌中の養分が非常に少ない結果が出ましたのでその結果を基に、堆肥や石灰などの肥料を投入しました。それでも肥料の効き方が少なく、このような症状が出たため急遽追肥の実施で対応しました。

山梨県は6月14日、平年より6日遅く梅雨入りしました。この時季は食べ物や家の中にカビが生えやすくなりますが、ブドウ樹も同様に病気が多発する時期です。ブドウ畑に病気が蔓延し早期落葉することが無いように日々、病気の予防を心がけて防除作業を徹底し畑を管理しております。